学校番号	205

平成 31 年度　国語科

教科	国語	科目	国語表現	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	国語表現（大修館書店）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

就職試験に向けて必要な面接マナーや敬語を学び、卒業後の社会生活でも必要な語彙を増やし、正しく漢字が書けるように反復練習する。また、テーマに応じて様々な文章を書いたり、グループワークを通して主体的に考える力を向上させる。

2　学習の到達目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。		伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、監事などについて理解し、知識を身に付けている。
評価方法	・観察 ・ワークシート	・観察 ・自己評価 ・相互評価	・ワークシート ・自己評価 ・相互評価		・ワークシート ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期（前半）	書いて伝える	・主述の関係、副詞の呼応、文末表現の統一、話し言葉と書き言葉の違いなど、整った文を書くために大切なことを理解する。 ・読点を適切に打ち、接続表現の種類と働きを理解し、わかりやすい文章を書く。 ・原稿用紙の使い方や推敲の観点を理解する。 ・反論を想定して構成を練り、それに沿って文章を書く。 ・資料を読み取り、自分の意見を明確にして書く。	○		◎		○	a:言語に対する関心が深まっている。 c:それぞれの文法を理解し、整った文章を書くことができる。 e:適切な表現を理解することができている。	・観察 ・ワークシート ・定期考査
1学期（後半）	自己ＰＲと面接	・経験から得たことや他者の意見を聞いて、自分の長所について考える。 ・効果的な自己ＰＲをする。 ・将来の自分について考え、職業について調べる。 ・自分の長所や自己ＰＲを入れ説得力のある志望動機を書く。 ・適切な言葉遣いや態度で面接の受け答えをする。	○	◎	○		○	a:意欲的に学習に取り組み、積極的に発言しようとしている。 b:自己ＰＲや志望動機を具体的に考え、的確な受け答えができている。 c:効果的な自己ＰＲや説得力のある志望動機になるように、適切な言葉遣いや表現で書くことができている。 e:適切な言葉遣いができている。	・観察 ・ワークシート ・相互評価 ・自己評価 ・定期考査
	働く人にインタビュー	・質問内容を吟味してインタビューをし、相手の話の大切な点を落とさずに聞き取る。	○	◎	◎		○	a:質問項目を工夫して、積極的にインタビューに臨もうとしている。 b:会話の流れに応じて臨機応変に質問するとともに、相手の話をしっかり聞き取っている。 c:聞いた話をわかりやすく整理し、効果的な構成を工夫したり文体を選んだりして詳しく書いている。 e:インタビューの場において適切な言葉遣いを用いている。	・観察 ・ワークシート ・定期考査

2学期（前半）	メディアを駆使する	・手紙やはがきなど、さまざまな通信文の形式を理解する。 ・相手や目的に応じて適切な形式を選び、通信文を書く。 ・初対面や目上の相手に対する電話での話し方を理解する。	○	◎	◎		○	a:通信文書き、電話応対に意欲的に取り組もうとしている。 b:相手や自分の立場、目的を考えながら、適切な電話応対を行なうことができている。 c:相手に効果的に伝わるよう表現を工夫して通信文を書いている。 e:通信文の形式、敬語の適切な言葉遣いを理解できている。	・観察 ・ワークシート ・相互評価 ・自己評価 ・定期考査
2学期（後半）	会話・議論・発表	・相手や場面に応じた会話ができる。 ・司会者などの役割を理解し、建設的な議論になるように協力しながら、結論を出す。 ・視覚的資料を用いながら、効果的なプレゼンテーションをする。	○	◎			○	a:進路や社会生活に生かすことを意識しながら、積極的に学習に取り組もうとしている。 b:相手や場面に応じた適切な言葉遣いで、効果的に伝わるようにしている。他者の発表のよい点や課題となる点を、根拠を挙げながら具体的に指摘したり、他者の意見を取り入れて自分の発表をよりよくしたりしている。 e:適切な言葉遣いを意識し、相手や場にふさわしい敬語を積極的に用いている。	・観察 ・ワークシート ・自己評価 ・相互評価 ・定期考査
3学期	レポートを書く	・1年間を振返り、これまで学んできた正しい文章構成、適切な言葉遣い、原稿用紙の使い方を理解し、読む人を意識して文章を作成できる。	○		◎		○	a:意欲的に学習に取り組み、積極的に作成しようとしている。 c:。自分自身のことを具体的に考え、的確な表現ができている。 e:適切な表現を理解することができている。	・観察 ・ワークシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力
c:書く能力　d:読む能力　e:知識・理解

・単元の中で重点的に評価を行う観点について○を付けている。また、そのうち特に重点を置いて扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）には◎を付けている。